2026年日本平和大会実行委員会ニュースno.4

発行:2026年日本平和大会実行委員会(事務局＝日本平和委員会内) 2026/6/15
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

開催県(神奈川)実行委の企画の具体化もすすむ

第４回実行委開催



6月12日午後、オンラインで第４回実行委員会を開催。11団体と神奈川県実行委から17人が参加しました。

はじめに、情勢と平和大会に向けた取り組みについての意見交換。林安保破棄中央実行委事務局次長が情勢と大会の意義について以下のように報告しました。続いて、大会プログラムに沿うかたちで、第３回実行委員会で確認した企画について、神奈川県実行委の討議を踏まえていっそうの具体化について検討しました。

林･安保破棄実行委事務局次長の報告(要旨)

今年は、アメリカによるベネズエラへの侵攻という無法極まりない暴挙から幕が開けたかと思います。それに続くイラン攻撃もあり、世界は一体どうなっていくんだろうかと心配に思う一方で、「これはおかしい、だめだ」という声も世界各地、日本各地で上がってきています。

今年のこの間の状況を、これは帝国主義の復活、力による支配がまかり通る世界になるのではないかという不安の思いで見ている方もいるかと思います。そういく見方、思いを持つ気持ちは分かりますが、一方、世界で平和運動をやっている方々の話を聞くと、アメリカはこれまで国際秩序を自分が思うがままに操り、自分の都合のよい国際秩序を作ってきたが、その秩序が壊れ、いま新しい国際秩序の構築がなされる過渡期ではないかという話をされる方もます。私もその通りだと思います。

そうだとしたら、どういうことを大事にしながらこれからの国際秩序を構築していくのか、私たちは「国連憲章守れ」と国連憲章に即したルールを守っていこうではないかという声を日本から上げていく必要があると思います。

残念ながら日本の政府はそれとは真逆の戦争をする国づくり、改憲に向けて進んでいるというのはご存知の通りです。具体的に言うと、大体毎年３月に開催されている自民党大会で、今年の大会では「時が来た」ということで来年の自民党大会の時に改憲発議のメドが立ってるような状況をつくろうと高市首相が呼びかけました。また、この 12 月には安保３文書を改定して、改憲の動きとともに戦争をする国づくりをさらに加速させようとしています。

そのためには軍事費を GDP 比で 3.5%、5%にするという話が出ていますが、自民党の提言では、それをなかなか書き込めないという状況が生まれています。なぜなら、これだけ物価高騰が繰り返される中で、国民負担をもとめることが許されるのか、こうした世論を怖がっているのです。私はここに多くの人たちと手を繋ぐポイントがある思います。大軍拡と大増税は一緒にやってくるということを、戦争する国づくりの様々な具体的な事象を紹介しながら広げていく必要があるなと思っています。

今たたかいは様々、地域でも始まっていますし、憲法については、改憲反対の署名が広がっています。これらの取り組みを進めていくとともに、今年非常に大事なポイントとしては、９月に沖縄県知事選挙があります。一つの地方自治体の選挙ではありますが、まさに戦争する国づくりの拠点として具体化されている、日米安保の矛盾が集中している沖縄で、不条理に対して抵抗する声の代弁者として、イラン攻撃は国際法違反、県の港湾などの軍事利用は許さない、辺野古新基地建設も南西諸島の軍事要塞化も許されない玉城デニー知事の再選をかちとることは、戦争する国づくり、改憲索動に走る高市政権への

大きな審判になると思います。それぞれの運動も進めながら、この県知事選挙も大事にし、平和大会に向けての準備と運動もすすめていければと思っています。

■国際シンポパネリスト、開会集会あいさつ・発言者

それぞれについて神奈川県実行委の意見・要望もふまえながら候補者（団体）をあげ、事務局で要請していくこととしました。

■プレ企画の具体化　＊費用は検討中。コース名は仮

▼27 日（金） 12 時 30 分集合-13 時出発-18 時横浜解散の予定、各コースバス1台定員 50 人

①「オスプレイ･共同訓練の拠点と戦争司令部を視察」
　東神奈川駅→ノースドック→上瀬谷→厚木基地→キャンプ座間→横浜

②「戦前の 『秘密戦』 研究所で戦争の歴史を学ぶ」
　新横浜駅→（慶応大日吉地下壕検討中）→明大登戸研究所→横浜
　　※登戸研究所のみの場合、最寄り駅で集合･現地解散も検討

③「『死の商人』の工場群とミサイル司令部･補給拠点をめぐる」
　新横浜駅→三菱重工→日本電気→三菱電機→相模原補給廠→JAXA→横浜

④「世界への出撃拠点･横須賀基地をめぐる」
　横浜駅→横須賀→横浜

▼28 日（土） 9 時半～

⑤「横須賀基地視察」 観光船に乗船 （定員 140 人　＊解説方法について検討中）

■学びと交流のつどい　▼日時：大会１日目 11/28の16～18時　▼場所：横須賀市内

神奈川県実行委主催の主催地の特徴を生かした分科会　＊タイトル名は仮で、趣旨を表しています

ⓐ 県内の基地の状況と基地撤去のたたかい　ⓑ 戦争と労働分野での徴用問題

ⓒ 気候危機問題と平和の課題

ⓓ「基地のある街で何が起きてる？」地位協定と米兵犯罪、軍隊による性暴力

ⓔ「日本を戦争する国にさせない！」先制攻撃用ミサイル・トマホークの横須賀配備に抗して

ⓕ 平和教育の交流　ⓖ ドキュメンタリー映画「父と家族と私のこと」

ⓗ 自衛官の人権と命を守れ―自衛隊内の人権侵害問題を考える

■分科会　▼日時：大会２日目 11/29 の9時15分～12時　▼場所：横浜市内

中央実行委員会主催　タイトル名は仮

① 無法な戦争ノー！出撃と屈辱の拠点・米軍基地撤去めざすたたかいの交流

② 憲法守れ！大軍拡・軍事要塞化ストップ！の運動交流

③ 大軍拡の道ではなく、国民の暮らし守る政治を

④「死の商人」の道を許すな ― 軍需産業・武器輸出問題

⑤「スパイ防止法」、国民監視・抑圧国家づくりを許さない

⑥ 自治体を戦争動員の道具にするな、平和の砦に

⑦ 教育への自衛隊浸透とのたたかい―平和教育を子どもたちに

⑧ 核基地化 NO！―非核三原則守り、核兵器禁止条約に参加する日本を

⑨ 女性参政権 80 年目のペンライトデモ ～ 半径５㌔から戦争を止めるために

⑩ 台湾有事を許さない台湾反戦勢力との交流会

⑪ 対話を広げ、安保条約廃棄の世論をどう広げるか

⑫ 動く分科会（横須賀基地乗船調査、定員 50 人）　※9 時半汐入駅集合　10 時乗船 11 時下船

・・

★★ 次回（第５回）実行委員会　7月9日(木)14 時～16 時（オンラインにて）

１次ビラに間に合うよう、企画の具体化、開催要項（第１次)、予算案などを検討します。